

令和6年度子ども読書活動推進事業の実施状況について

1 第5次島根県子ども読書活動推進計画（令和6年3月）の情報共有及び進捗管理

- 島根県子ども読書活動推進会議を開催し、第5次島根県子ども読書活動推進計画（令和6年3月）や事業実施状況に関する情報共有や事業説明を行う。（年1回開催）
⇒ R6実績：令和6年10月29日に開催 R7予定：令和7年10月頃開催
- 市町村子ども読書活動推進計画の策定を促進するために、市町村から情報収集をするとともに、計画の策定や改定に関する情報提供等の支援を行う。
- 市町村が行う子ども読書活動普及に係る人材育成の取組について、状況把握を行う。

2 しまね子ども読書フェスティバル事業

県内3か所において、子ども読書の推進に関する取組を委託事業で実施。

- 予算：1市町村あたり200千円以内
ただし、講師の招聘などで多くの費用がかかる離島など、特別な事情がある場合には、上限を300千円とする
- 内容：未就学児を中心とした読書普及の推進
ブックトークやストーリーテリング、外部講師による読み聞かせ講座など
⇒ R6実績：4市町村で開催（隠岐の島町・知夫村・安来市・津和野町）
⇒ R7予定：県内4か所を対象として事業募集



3 絵本の読み聞かせダイアリーの作成・配布

- 親（大人）と子どもとの絆を深める、家庭での読み聞かせ活動を支援するため、幅広く親や家族を対象とした絵本の読み聞かせ記録手帳「えほんダイアリー」を作成する。
- 県内公立図書館等で活用・啓発してもらえるよう、県立図書館を通して配布するほか、県立大学松江キャンパスおはなしレストランライブラリーでも配布する。
⇒ R6実績：2,700部作成
（うち、県立図書館分200部・市町村立図書館分2,300部・県立大学分200部）
⇒ R7予定：3,000部程度を作成予定

4 全国高等学校ビブリオバトル 2024 島根県大会

- ・ 「人を通して本を知る。本を通して人を知る」というビブリオバトルの理念に基づき、お気に入りの本を紹介し合うという主体的で協働的な活動によって読書への関心を高め、その楽しみを共有する場とするとともに、言語・コミュニケーション能力の向上を図ることをねらいとして、県内の高校生（特別支援学校高等部の生徒、松江工業高等専門学校の3年生までを含む）を対象に開催する。
- ・ 大会の企画・運営は実行委員会形式で行い、社会教育課が事務局を担当する。
(構成団体：県高図研、県立学校 学校司書、教育指導課、社会教育課、県立図書館、島根大学、島根県立大学)

⇒ R 6 実績：令和6年12月7日に島根県立大学浜田キャンパスで開催
バトラー（9名参加）観覧者（31名参加）サポーター（19名参加）

⇒ R 7 予定：令和7年12月頃に、松江市内で開催予定



5 読書普及に関する研修会の開催

県内の市町村立図書館の職員、小学校・幼稚園・保育園・子ども園の職員及び保護者、親子読書アドバイザー、読書ボランティア等を対象に研修を行い、「親子読書」を中心とした読書普及活動を行う。

- ・ 職員やボランティア等を対象としたもの
講話を通じた研修、実践を通じた研修の開催
⇒ R 6 実績：出雲会場（23名参加）・大田会場（13名参加）で開催
⇒ R 7 予定：講話を通じた研修、実践を通じた研修（各研修ともに東西会場で実施）
- ・ 保護者を対象としたもの
⇒ R 6 実績：要望がなかったため実施なし
⇒ R 7 予定：要望に応じて実施

